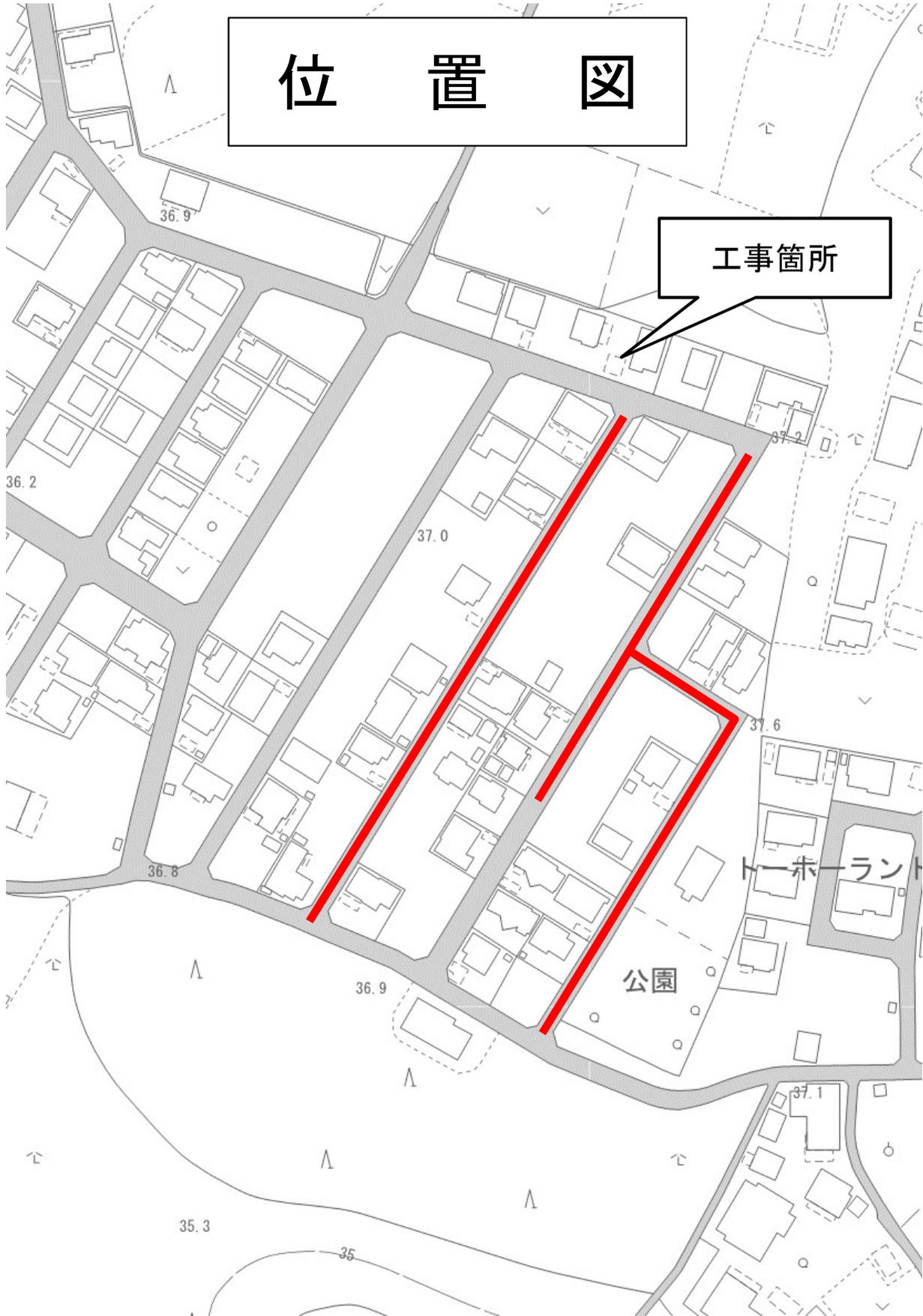


位置図

工事箇所



特記仕様書

(総則)

第1条 本特記仕様書は、石岡市の発注する建設土木工事に適用する。

2 本特記仕様書は、茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書(以下、「共通仕様書」という。)を補完する。

(工期)

第2条 工期は、契約書に記載された期間内に完了するよう順守すること。なお、休日等には日曜日、祝日、年末年始休暇及び夏季期休暇とする。

(工事数量)

第3条 工事数量は、別冊工事設計書内に記載されたとおりとする。

(工程関係)

第4条 工事の作業時間帯は、下表のとおりとすること。なお、作業時間帯の変更を要する場合には、速やかに監督員と協議すること。

工種	作業時間帯	期間
全工種	作業開始 9時00分 作業終了 17時00分	工期期間内

(建設資材)

第5条 使用する資材のうち、下表の工種には、茨城県リサイクル建設資材を使用すること。なお、指定されたリサイクル建設資材の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。

工種	リサイクル建設資材	規格
舗装工	再生アスファルト	再生密粒度As(13)

(建設機械)

第6条 使用機械のうち、バックホウ、ブルドーザー、モータグレーダ、ロードローラ、タイヤローラについては、排出ガス対策型の第1次基準値以上(ただし、バックホウ山積0.8m³並びにASフィニッシャーについては、第二次基準値のもの)を使用すること。

2 排出ガス対策型機械の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。なお、排出ガス対策型機械を使用しないこととなった場合、契約変更の対象となることがある。

第7条 使用機械のうち、バックホウについては、低騒音(低振動)型建設機械を使用すること。

2 低騒音(低振動)型機械の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。なお、低騒音(低振動)型機械を使用しないこととなった場合、契約変更の対象となることがある。

(過積載の防止)

第8条 本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。

- (1) 積載重量制限を超過して工事用資材等を積み込まず、また積み込ませないこと。
- (2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
- (3) 資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたっては、下請事業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- (4) さし枠装着車、物品積載装置の不正改造をしたダンプカー及び不正表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。また、これらの車両を工事現場に出入りさせないこと。
- (5) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長するような行為をしないこと。
- (6) 取引関係のあるダンプカー事業者が不正行為(過積載、さし枠装着車や不正表示車等の使用)を行っている場合には、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (7) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
- (8) 下請契約の相手方や資材納入業者の選定にあたっては、交通安全に対する配慮に欠ける者やダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。

(交通誘導員の配置)

第9条 工事の施工にあたっては、交通誘導員を配置し一般交通等に支障のないよう十分注意して施工すること。

(不正軽油の使用防止)

第10条 本工事の施工にあたっては、下記の事項を遵守すること。

- (1) 現場で不正軽油を使用しないこと。
- (2) 現場で不正軽油を使用させないこと。
- (3) 不正軽油を購入しないこと。
- (4) 取引関係にある運送事業者等が不正軽油を使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (5) 下請契約の相手方、または燃料納入業者を選定するにあたっては、不正軽油を使用する者、または不正軽油を販売する者を排除すること。
- (6) 県税事務所職員による使用燃料の抜き取り調査に協力すること。また、調査の際には、現場代理人が立ち会うこと。
- (7) 当該工事に関して、法令(地方税法等)に違反していることが判明した場合は、直ちに監督員に報告すること。

(隣接工事との諸経費の調整)

第11条 該当なし

(労働安全衛生法等の遵守)

第12条 請負人は、共通仕様書1-1-34に基づき、労働安全衛生法等関係法令を遵守

し、特に次の事項に留意すること。

- (1) 受注者は、高所作業における作業床、囲い、二段手すり、幅木、防網の設置、作業員の安全帯の使用、悪天候時の作業禁止、照度の保持、踏み抜きの防止、不用のたて杭等における危険の防止、昇降設備の設置、墜落危険箇所の立入禁止等により、墜落・転落災害の防止措置を講じること。
 - (2) 受注者は、建設機械による作業に先立ち、当該建設機械の転落、地山の崩壊等による作業員の危険を防止するため、地形や地質の状況等を調査し、作業計画を定めてから作業を行うこと。また、作業中は、機械の制限速度、転落・接触等の防止、誘導者の合図、運転者が運転位置から離れるときの措置、機械の移送、搭乗・使用の制限、修理等について、関係法令を遵守すること。
 - (3) 受注者は、地山の掘削作業に先立ち、地山の崩壊や埋設物の損壊等により危険を及ぼすおそれのあるときは、作業箇所及び周辺の地山について調査し、掘削の時期及び順序を定めて作業を行うこと。また、土砂崩壊災害の防止等のため、手掘り掘削における掘削面の勾配や土止め支保工、防護網の設置、作業員の立入禁止、埋設物等による危険の防止、掘削機械等の使用制限、誘導者の配置、保護帽の着用、照度の保持等について、関係法令を遵守すること。
 - (4) 受注者は、建設機械の操作や玉掛け作業を、法令で定める免許を有する者、または技能講習や特別教育修了者に行わせること。
 - (5) 受注者は、掘削面の高さが2m以上となる地山の掘削作業を行う場合、地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習を終了した者のうちから、地山の掘削作業主任者を選任しなければならない。
 - (6) 受注者は、土止め支保工の切り梁、腹起こしの取り付け、取り外し作業を行う場合、地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習を修了した者のうちから、土止め支保工作業主任者を選任しなければならない。
- 2 受注者は、監督員より作業員の免許等の提示を求められたときは、協力すること。

(疑義)

第13条 本工事の施工及び設計図書等に疑義が生じた場合には、監督員と協議のうえ、その指示に従うこと。

(その他)

第14条 本工事の工事成績評定については、石岡市建設工事成績評定要綱に基づき行うものとする。

2 本工事の施工において、影響を受ける境界鉄等については、控えをとり、亡失することのないように施工を行うこと。なお、やむを得ない理由により移動させた場合には、受注者と地権者との協議の上、元の位置に復元すること。

また、移動させる場合は、受注者の責任において行うものとし、トラブル等が発生した場合には、受注者で対応すること。

3 本工事において、交換するマンホール蓋は監督員と協議し、決定すること。

工事数量総括（内訳）表

第 02-01-000-K-444 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
道路修繕			1	式		
舗装工			1	式		
舗装打換え工（単独）			1	式		舗装版切断 40.000 m 舗装版破碎 1,760.000 m2 殻運搬 82.000 m3 表層 1,760.000 m2 不陸整正 1,760.000 m2
構造物撤去及び再設置			1	式		
既設マンホール蓋交換			1	式		既設マンホール蓋交換 8.000 基
舗装			1	式		
仮設工			1	式		
交通管理工			1	式		交通誘導警備員 12.000 人日
直接工事費計			1	式		
共通仮設費（率計上）			1	式		
共通仮設費計			1	式		
純工事費			1	式		
現場管理費			1	式		
工事原価			1	式		
一般管理費等			1	式		
契約保証費用			1	式		
工事価格			1	式		

工事数量総括（内訳）表

第 02-01-000-K-444 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
消費税相当額						
			1	式		
請負工事費						
			1	式		

本工事費内訳書

第 02-01-000-K-444 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
道路修繕					
舗装工					
舗装打換え工 (単独)					
舗装版切断	40.000	m			
舗装版切断 舗装版種別(アスファルト舗装版),アスファルト舗装版厚(15cm以下),費用の内訳(全ての費用)	40.000	m			施工P 第0001号代価表
舗装版破碎	1,760.000	m2			
舗装版破碎 舗装版種別(アスファルト舗装版),障害等の有無(無し),騒音振動対策(不要),舗装版厚(15cm以下),積込作業の有無(有り),費用の内訳(全ての費用)	1,760.000	m2			施工P 第0002号代価表
殻運搬	82.000	m3			
殻運搬 殻発生作業(舗装版破碎),積込工法区分(機械(騒音対策不要,厚15cm以下)),DID区間の有無(無し),運搬距離(km)(DID区間無し)(11.5km以下),費用の内訳(全ての費用)	82.000	m3			施工P 第0003号代価表
アスファルト廃材処理費(中間処理施設) 掘削材 40cm以下	192.000	t			
表層	1,760.000	m2			
表層(車道・路肩部) 平均幅員(3.0m超),1層当平均仕上厚 70mm以下(50 mm),材料(再生密粒度アスファルト混合物(13)),瀝青材料種類(グライムコート PK-3),費用の内訳(全ての費用)	1,760.000	m2			施工P 第0004号代価表
不陸整正	1,760.000	m2			

本 工 事 費 内 訳 書

第 02-01-000-K-444 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
不陸整正 補足材料の有無(有り), 補足材料平均厚さ(29mm以上34mm未満), 補足材料(粒度調整碎石 M-30), 費用の内訳(全ての費用)	1,760.000	m2			施工P 第0005号代価表
構造物撤去及び再設置					
既設マンホール蓋交換					
既設マンホール蓋交換	8.000	基			
既設マンホール蓋交換	8.000	箇所			第0006号代価表
舗装					
仮設工					
交通管理工					
交通誘導警備員	12.000	人日			
交通誘導警備員B	12.000	人日			第0009号代価表
直接工事費計					
共通仮設費 (率計上)					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
工事原価					
一般管理費等					

本工事費内訳書

第 02-01-000-K-444 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
契約保証費用									
工事価格									
消費税相当額									
請負工事費									

第 0001 号 代価表 舗装版切断

施工P(機6.42%, 労53.37%, 材40.21%, 市0.00%)

第02-01-000-K-444号

1.000 m 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深20cm級	4.340	%			K1
特殊作業員	18.480	%			R1
世話役	9.590	%			R2
普通作業員	8.000	%			R3
コンクリートカッタ (ブレード) 径22インチ	37.360	%			Z1
ガソリン レギュラー	1.930	%			Z2
			(標準単価 積算単価)

条件名称	入力値	入力名称
J01 舗装版種別	1	アスファルト舗装版
J02 アスファルト舗装版厚	1	15cm以下
J05 費用の内訳	1	全ての費用

第 0002 号 代価表 舗装版破碎

施工P(機10.10%, 労81.87%, 材8.03%, 市0.00%)

第02-01-000-K-444号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準] 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	10.100	%			K1
世話役	29.500	%			R1
運転手 (特殊)	27.770	%			R2
普通作業員	24.600	%			R3
軽油 1.2号	8.030	%			Z1
			(標準単価 積算単価)

条件名称	入力値	入力名称
J01 舗装版種別	1	アスファルト舗装版
J02 障害等の有無	1	無し
J03 騒音振動対策	1	不要
J04 舗装版厚	4	15cm以下
J06 積込作業の有無	1	有り
J07 費用の内訳	1	全ての費用

第 0003 号 代価表 殻運搬

施工P(機48.90%, 労36.46%, 材14.64%, 市0.00%)

第02-01-000-K-444号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t積級	48.900	%			K1
運転手 (一般)	36.460	%			R1
軽油 1.2号	14.640	%			Z1
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J01 殻発生作業	2	舗装版破碎
J02 積込工法区分	4	機械 (騒音対策不要、厚15cm以下)
J03 DID区間の有無	1	無し
J10 運搬距離 (km) (DID区間無)	5	11.5km以下
J16 費用の内訳	1	全ての費用

第 0004 号 代価表 表層(車道・路肩部)

施工P(機1.55%, 労9.26%, 材89.19%, 市0.00%)

第02-01-000-K-444号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m	1.000	%			K1
ロードローラ [マカダム] 運転質量10~12t	0.160	%			K2
タイヤローラ [普通型] 運転質量8~20t	0.160	%			K3
普通作業員	3.380	%			R1
特殊作業員	1.930	%			R2
運転手 (特殊)	1.880	%			R3
世話役	0.660	%			R4
再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物 (13)	81.510	%			Z1
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	7.150	%			Z2
軽油 1.2号	0.450	%			Z3
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J01 平均幅員	4	3.0m超
J04 1層当平均仕上厚 70mm以下	50	50 mm
J05 材料	11	再生密粒度アスファルト混合物 (13)
J06 瀝青材料種類	2	プライムコート PK-3
J07 費用の内訳	1	全ての費用

第 0005 号 代価表 不陸整正

施工P(機18.53%, 労45.96%, 材35.51%, 市0.00%)

第02-01-000-K-444号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
モータグレーダ [土工用・排ガス対策型 (第2次)] ブレード幅3.1m	9.140	%			K1
ロードローラ [マカダム・排ガス対策型 (第2次)] 運転質量10t 締固め幅2.1m	7.080	%			K2
タイヤローラ [普通型] 運転質量8~20t	2.310	%			K3
運転手 (特殊)	29.000	%			R1
特殊作業員	8.930	%			R2
普通作業員	6.480	%			R3
世話役	1.550	%			R4
粒度調整砕石 M-30	30.810	%			Z1
軽油 1.2号	4.700	%			Z2
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J01 補足材料の有無	2	有り
J02 補足材料平均厚さ	9	29mm以上34mm未満
J03 補足材料	11	粒度調整砕石 M-30
J04 費用の内訳	1	全ての費用

第 0006 号 代価表 既設マンホール蓋交換

第 0 2 - 0 1 - 0 0 0 - K - 4 4 4 号

1.000 箇所 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
圧力開放型人孔鉄蓋(変形防止部材(ボルト含)付 鍵付) φ600 T-14 勾配受H=110	1.000	個			
蓋(受枠とも)調整コンクリートブロック据付工 作業区分(調整コンクリートブロックを使用しない),トラックレン 賃料補正(標準(1.0))	1.000	組			第0007号 代価表
既設マンホール蓋撤去工	1.000	箇所			第0008号 代価表
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

第 0007 号 代価表 蓋(受枠とも)調整コンクリートブロック据付工

第 0 2 - 0 1 - 0 0 0 - K - 4 4 4 号

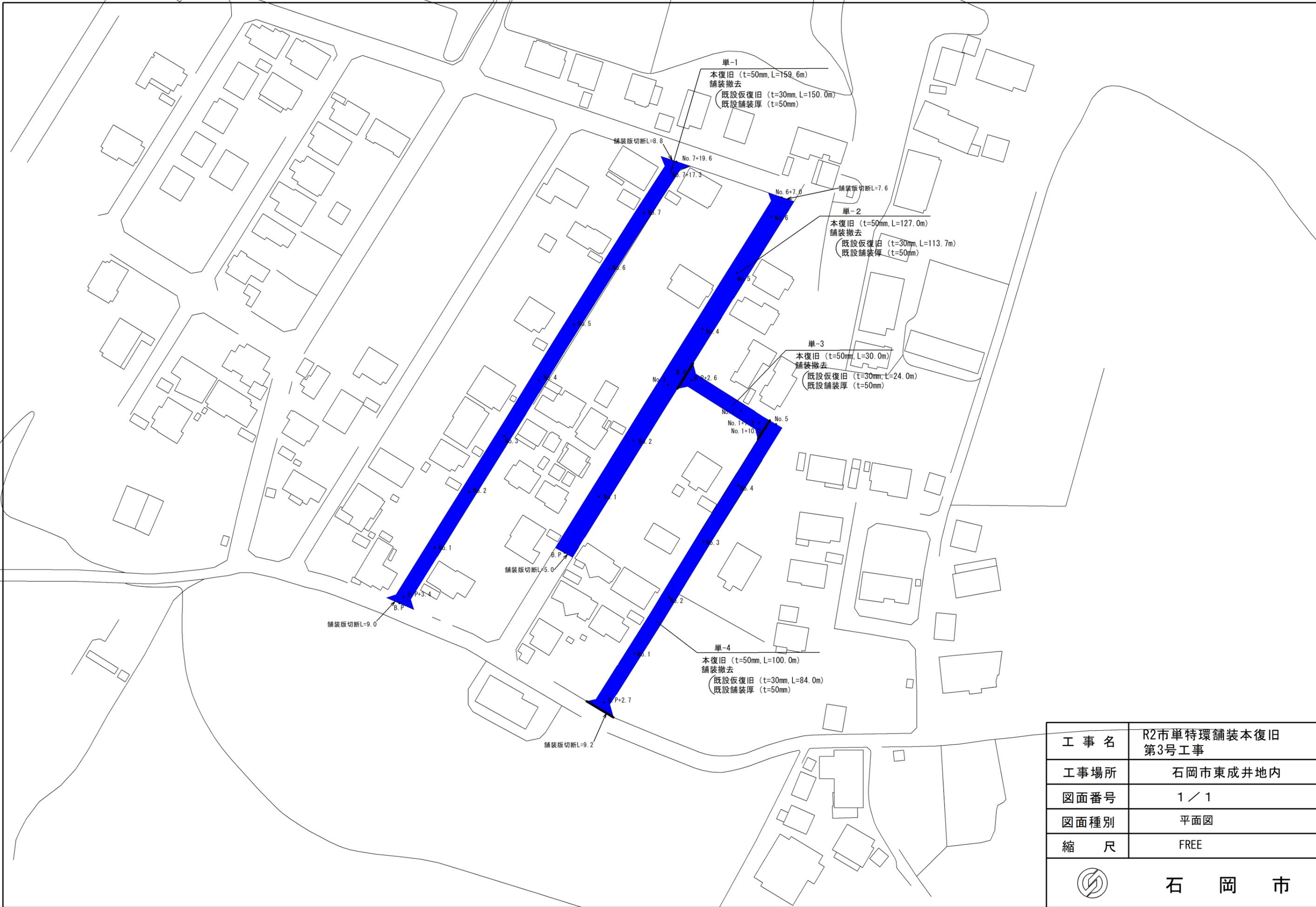
1.000 組 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 4.9t吊		日			
諸雑費 (率+まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 作業区分	2	調整コンクリートブロックを使用しない
J 0 2 トラッククレーン賃料補正	1	標準 (1.0)

数量計算総括表(単独)

工事名:R2市単特環舗装本復旧第3号工事 工事箇所:石岡市 東成井 地内					
工種	種別	規格	数式	数量	単位
舗装工					
	舗装切断工	15cm以下		39.6	m
	舗装版破碎	15cm以下		1760.0	m ²
	殻運搬処理工			81.6	m ³
	不陸整正	補足材料有 t=30,M-30		1760.0	m ²
	表層工	再生密粒度As t=5cm プライムコート		1,760.0	m ²
	アスファルト廃材処理費			191.7	t
マンホール蓋交換					
	マンホール蓋交換			8.0	箇所



工事名	R2市単特環舗装本復旧 第3号工事
工事場所	石岡市東成井地内
図面番号	1 / 1
図面種別	平面図
縮尺	FREE



石 岡 市